

NR-0205_pt ライトユニット 説明書

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。この説明書、下記の注意書きなどをよくお読みの上、お楽しみください。

【はじめに】
点灯化キットは、鉄道コレクションに、集電システム、ライトユニット、室内灯を組み込み、ヘッド・テールライト、室内灯を点灯させるためのキットです。
本キットは以下の車種に対応します。
・205系原形車とその譲渡車
本キットは、トレーラー車専用です。
動力ユニット付き車に使用すると、チラツキ対策を施していないため、前進時にテールライトが、後進時にヘッドライトが、チラチラと点灯してしまいます。

【注意】

- ・この商品は15歳以上のお客様にお楽しみいただける商品です。
- ・機能上小さな部品が使われており、誤飲の危険がありますので、3歳未満のお子様には絶対に与えないでください。
- ・機能上尖った部分があります。取り扱いには十分ご注意ください。
- ・加工の際の刃物や工具の取り扱いには十分ご注意ください。
- ・加工、組立の際に出たクズは、すぐに捨ててください。
- ・接着剤・塗料は、火気のない場所で、換気に注意してお使いください。
- ・車両は必ず直流(DC)12V以下で運転してください。交流(AC)は絶対に使用しないでください。
- ・ライト類は必ず動力車と編成を組んだ状態で点灯させてください。また、停止させたまま長時間点灯することはおやめください。
- ・脱線した場合、動力車やパワーユニットが発熱する恐れがありますので、直ちに電源を切り、復旧させてください。
- ・当キットのライトユニット・室内灯は、1両あたり合計最大約30mAの電流が流れます。電源の容量をご確認の上、お楽しみください。

【パッキングリスト】
このキットには、以下の材料がセットされています。加工を始める前に不足がないかお確かめください。

【ライトユニット】

- ・ライトユニット : 1個/セット

【その他】


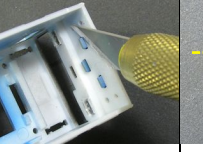
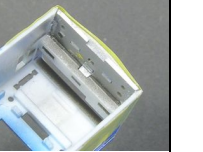
- ・説明書(本紙) : 1枚
- ・導電性アルミテープ(15mm×約120mm) : 3枚/箱

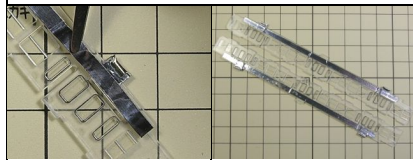
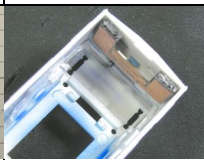
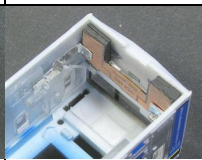

※導電性アルミテープは、楊枝や綿棒などを使って、しわを伸ばすようにして、しっかりと張ってください。
※導電性アルミテープは、導電性の接着剤が塗布されていますが、何度も貼り直していると導電性が失われていきます。接着剤の導電性を活用する箇所では、一度しっかり貼ってしまったアルミテープの再利用は避けてください。

【必要な工具】

- ・カッティングマット
- ・ピンセット
- ・ニッパ
- ・プラスチックライバー
- ・両面テープ
- ・本エポンド
- ・ポリエステルテープ(ニチバン「マイラップ」、セメダイン「ラビエ」など)
- ・カッターナイフ(デザインナイフが望ましい)
- ・楊枝、綿棒など
- ・ピンバイス(0.3mm、0.5mm、0.8mm、1.0mm)
- ・精密ヤスリ(平、丸、半丸など)
- ・ゴム系接着剤
- ・プラモデル用接着剤
- ・直定規
- ・塗装面を保護する柔らかい布
- ・ボンチ(ブッシュピンなどでも可)
- ・サンドペーパー
- ・マスキングテープ
- ・瞬間接着剤
- ・遮光用の塗料(黒または銀)

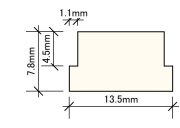

●取り付け手順

1. 床板を外す				
1-1 床板を外す	1-2 パンタグラフを外す	1-3 屋根を外す	1-4 乗務員室仕切りを外す	1-5 窓ガラスを外す
				
車体と床板の間を押し広げ、床板を外します。	パンタグラフは、楊枝などで内側から押して外します。	中央のツメを楊枝などで押して、屋根を外します。	乗務員室仕切りは、屋根を外して天井上の爪を外します。	窓ガラスは、まず、連結面、側窓後部の順に外します。
2. 車体を加工する				
(1-5つづき)	1-6 ライトレンズを外す	2-1 側窓を加工する	2-2 帯のツメを加工する	2-3 排障器を加工する
				
次いで、前面、側窓前部の順に外します。	ライトレンズは、外側から楊枝などで押して外します。ライトレンズは使用しないので保管します。	側窓前部を、乗務員扉の窓の下前部に接する45度の線でカットします。カッターで数度傷を付けてから折ります。	前面の飾り帯のツメがライトユニットと干渉するので、車内に飛び出している部分を削り取ります。固定できなくなるので、ゴム系接着剤で固定します。	排障器の両サイドのツメを削り取ります。また、中央のツメも、厚さが半分程度になるように削ります。固定が甘くなるので、ゴム系接着剤で補強します。
◆前面が組み立て式の車両の場合				
				
富士急のクモハは前面が組立て式になっています。前面を固定している左右のツメがライトユニットと干渉するので、ツメを除去します。	前面を分解します。	前面板のツメ2か所、車体側のツメを引っ掛けるリブ2か所を削り取ります。	ゴム系接着剤、又は流し込みタイプのプラモデル用接着剤前面を使用して固定します。ゴム系接着剤の場合は、ある程度乾燥するまで、マスキングテープなどで固定します。	流し込みタイプを使用する場合は、車内側から流し込み、表側へにじみ出さないように、極少量ずつ流し込みます。
3. 床板を加工する		4. ライトユニットを取り付ける		5. 配線する
4-1 前面窓をはめる		4-2 ライトユニットをはめる		5-1 側窓の凸部にアルミテープを貼る
				
床板前端の両サイドを切り欠きます。枕木方向はダミーカブラーの取り付け穴まで、線路方向はTNカブラーの台座の手前まで切り欠きます。		前面窓をはめます。※ツメを迫ってしまった場合は、両面テープなどで固定します。		ライトユニットをはめます。緩い場合は、両面テープなどで固定します。
				5mm×7mmのアルミテープを4本用意します。側窓の内側・両端、ボディとの嵌合部の凸部にテープを貼ります。テープの先端が窓ガラスのリブに当たるようにします。はみ出したテープを側窓の外側に折り返します。綿棒や指でよく押さえ、凸部に馴染ませます。両側の側窓の両端、計4箇所凸部に貼ります。

<p>5-2 側窓下にアルミテープを貼る</p>  <p>2.5mm × 93mmのアルミテープを2本用意します。(側窓が2分割の場合は、3mm × 93mm) 側窓の両端の凸部をつなぐように、テープを貼ります。 両側の側窓に貼ります。</p>	<p>5-3 側窓をはめる</p>  <p>側窓をはめます。</p>	<p>5-4 ライトユニットへの配線</p>  <p>1.5mm × 15mmのアルミテープで、側窓下のアルミテープからライトユニットの給電パッドまで配線します。 ※必ず1.5mm幅の細いテープを使用します。太いテープはかえて通電を悪化させます。</p>	<p>5-5 給電パッドの重ね貼り</p>  <p>ライトユニットの給電パッドの通電の確実を期して、3.5mm × 6mmのアルミテープを重ね貼ります。 ※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。</p>
--	---	--	--

<p>5-6 側窓下の重ね貼り</p>  <p>側窓下の通電の確実を期して、2.5mm × 20mmのアルミテープを重ね貼ります。 ※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。</p>

●遮光床を取り付ける(動力ユニット付きの中間車に室内灯を取り付ける場合にお好みで)

<p>0. パーツを作る</p>  <p>TM-14/18用遮光床 型紙</p> <p>0.5mmのプラ板でパーツを作りま す。 (遮光に適した黒いプラ板を分売 しています)</p>	<p>1. 遮光床を取り付ける</p>  <p>動力ユニットのフレームの開口部 に遮光床をはめ、両面テープで固 定します。 前後両端に取り付けます。</p>
--	---

